

進路だより

2021年3月15日 No.108

◆いよいよ明日は、卒業式です。

先週、「三年生を送る会」が行われました。今まで「卒業まであと～日」などと言われても今ひとつピンとこなかった人も、いよいよ自分たちが十四中を卒業して、それぞれの進路、人生の次の一步を踏み出していくことを実感したのではないのでしょうか。この十四中で、43期生の仲間や先生たちと過ごすことが出来るのも明日で終わりです。この1年、「コロナ禍」のなかで例年とは全く違う日常、そして学校生活の中でも日々の授業や行事、クラブ活動など我慢しなければならないことも多かった1年でした。進路選択をするうえでも、一斉休校から始まった4月、不安が大きかったと思います。オープンスクールや体験授業も人数制限や内容制限などがかかり、文化祭も非公開で高校を知る手段も限られる中、それでも43期生の皆さんは積極的に自身の進路について考え、進路を切り拓いてきました。そして迎える16日は皆さんにとって「門出」の日です。卒業式が終われば、それぞれの選んだ道に進んでいくことになります。皆さん一人ひとりがこの3年間をしっかりと振り返って、その思いを心に刻んで、卒業式に臨んでほしいものです。素晴らしい卒業式を期待しています。

この「進路だより」も、今日でその役目を終えます。第1号で書いたことを覚えているでしょうか。この「進路だより」は43期生の皆さんが進路を考えていく上での手助けとなり、進路選択の参考になるようにと様々な情報を提供し、アドバイスをしてきました。皆さんが進路を考えるにあたって少しでも役に立ったのなら幸いです。

◆皆さんの「進路を考える旅」はこれからです。

最後に、「進路」について一つだけ書いておきます。それは、皆さんの「進路を考える旅」は、この1年間で終わったのではなく、これからさらに続いていくということです。十四中を卒業して、4月からはそれぞれ今までとは全く違う、新しい生活を始めることとなりますが、これはこれから始まる「本格的な進路＝人生＝自分の生き方を探し求める旅」の出発点だということです。誰でも「素晴らしい人生」を送りたいと願うのは当然です。しかし、本当に「素晴らしい人生」を送れるかどうかは、人生の中でつねに「自分の目標」を持ち続けることが出来るかどうかにかかっているのだと思います。「目標」を持ち続けることは簡単ではありません。しかし、43期生の皆さんならば、必ず「次なる目標」を持ち続けることが出来ると思います。頑張ってください。次のステージでの活躍を応援しています。

この1年間、「進路だより」をしっかりと読んで、

考えてくれてありがとうございました。